

日本ボストン会会報

発行所 日本ボストン会事務局 ㊦227-0045横浜市青葉区若草台8-28 Fax045-962-0866

日米交流150周年を迎えて

会長 井口武夫

今年日本と米国との間で日米和親条約(Treaty of Peace and Amity between the United States and the Empire of Japan)が神奈川(現在の横浜)において締結されてから150年が経過した、記念すべき年にあたります。

ペリー提督もニューイングランド出身であり、またこの関係のはじまりは、1841年頃に、ニューイングランドの捕鯨船のWhitfield 船長に救助された土佐の漁師の少年John万次郎が、フェアフェーンで教育を受けて成人し、その後日米交渉に通訳をしたのが縁でした。

その後、岡倉天心、フェノロサが偲ばれるニューイングランドの古都ピーボディ及びボストンの博物館・美術館等は、日本美術や工芸品の宝庫となり、ハーバードやMITには明治以降、近代日本の発達に尽くした多くの学生、学者が学びました。

更に戦後特筆すべきは、ボストンを中心とした産学一体の頭脳集団が、米国の科学産業技術の研究開発の一大拠点となりました。その接点となった日本企業の方々が、現在のボストン会の中心メンバーになっておりますことはご承知の通りであります。

そもそも日露戦争が勃発した明治37年(1904)に、ニューイングランドと日本との間において教育者、実業家、公的・文化的な関係者を交えた交流を目的として、ボストン日本協会(The Japan Society of Boston)が創設され、今年はその100周年を迎える記念すべき年になりました。

過去150年間、日米の幅広い分野での交流が深まり、日米の友好と理解を促進する上で、ボストンを中心とするニューイングランドの果たした役割は大きいと思います。

我々の集いも、茂木賢三郎前会長が「ボストン大好き人間」の集いとして述べられたとおり、親睦活動を中心としております。1998年に、会員有志の寄稿を纏めて「日本・ニューイングランドの交流の歴史」を発行して、歴史を観る活動にも関心を向けて参りました。

今年になってから、谷口禎一元総領事から、ボストンで日米交流に戦前から尽くされた方々が作成・保存してきた、ボストンの日本人留学生の会合記録4冊が回付されてきました。1908年から1954年までの記録ですが、終戦後の1冊が欠落、日時が飛び飛びだったりして、人名だけの記録の部分が多いのですが、記録としては現在では唯一の貴重なものと思われまます。それで判る範囲での活字化を計れば、過去の記録が把握され、歴史の空白の頁が補充されて「思い出」がよみがえるのではないかと考えます。

そこでこの記録にご記憶の有る方のお申し出と助力をお願いし、ご協力を得られるならば望外の幸せと思ひます。また、会員の皆様には今後の作業の進展をはかる上での御知恵をお借りしたく、よろしく御願ひ申し上げます。

総会・懇親会のお知らせ(同封チラシ参照)

日時: 平成16年11月12日(金)午後6時開場、午後6時半開会、午後9時閉会。

場所: NEC三田ハウス芝クラブ(JR田町駅、都営地下鉄三田駅下車)
港区芝5-21-7、㊦03-5443-1400

出席者: 当日払い お一人 6000円 同伴者 5000円
事前送金 お一人 5000円 同伴者 5000円

送金方法: 銀行送金 みずほ銀行芝大門支店芝浦シーバンス出張所
普通預金口座番号 1578981 口座名「日本ボストン会」

申し込み先: 日本ボストン会事務局(同封ハガキ、又はE-mailにて10月31日までに
お知らせ下さい。 E-mail: boston@cronos.ocn.ne.jp

日本ボストン会の活動はホームページにてご覧下さい。http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~boston/